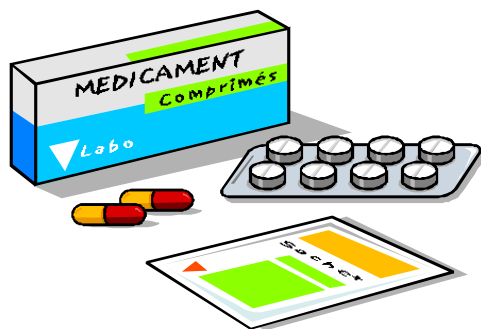


薬について

いざという時のために



相模原市立橋本図書館

2011.4.作成

相模原市立橋本図書館

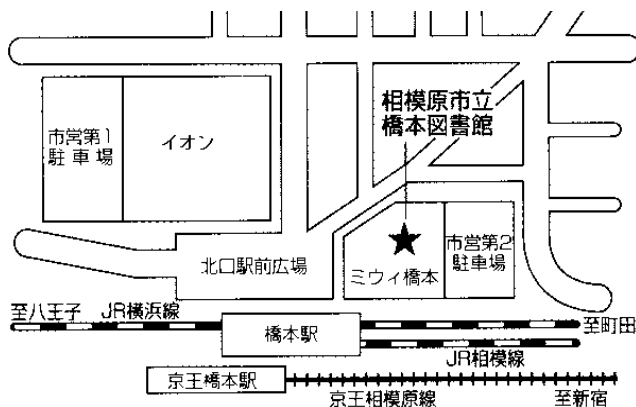
〒252-0143
相模原市緑区橋本3-28-1
電話 042-770-6600
FAX 042-770-6601

開館時間

- 火曜日～金曜日
午前9時30分から午後8時まで
- 土・日曜日・休日
午前9時30分から午後6時まで
- 12月28日
午前9時30分から午後5時まで
ただし、12月28日が月曜日にあたる場合は休館

休館日

- 月曜日
ただし、月曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館
- 図書整理日
1月・4月を除く毎月第2木曜日。
ただし、その日が祝日の場合は開館し、翌日が休館
- 年末年始
12月29日から1月4日
- 蔵書点検期間
4月5日から4月11日



インターネットで発見！ ちょっといいサイト

インターネットのホームページから、今回のテーマにそった健康情報に関するおすすめのページを紹介します。

「医薬品医療機器情報ホームページ」
厚生労働省が提供する医薬品医療機器等の総合サイトです。
医薬品名による検索で添付文書の重要な情報もわかります。“おくすり相談”では薬の効能効果、飲み合わせなど電話での相談を受けつけています。
URL:<http://www.info.pmda.go.jp/>

「日本薬学会」
日本薬学会が提供する医療情報のサイトです。会員だけでなく、一般の人も見られます。健康豆知識の中の“薬の常識”などは花粉症の説明から薬についても詳しい説明が掲載されています。
“薬学用語解説”は病名だけでなく、聞きなれない用語の解説も載っており、アルファベット順に掲載されているので調べるときに便利です。
URL:<http://www.pharm.or.jp/>

寒い冬も終わりを告げ、ようやく、春めいてきましたね。
この時期は特に寒暖の差が激しく、油断すると風邪をひきやすくなります。日頃薬を飲んでいない方でも薬のお世話になることがあるかもしれません。
そんなときにこの健康情報をご覧いただけたらと思います。

健康情報ブックリスト

橋本図書館所蔵の健康情報に関する本を今回のテーマに沿ってご紹介いたします。ご紹介した本は、分類に **R** とついているもの以外は貸出できません。

HE499.1

『薬の手引き 2009-10年版』

榊淵 幸吉 / (他) 編著

小学館 2008

本書は薬剤の製品名を五十音順にまとめた目次があり、薬の正しい飲み方・使い方、どんな効果があってどんな治療に使われるのか、各器官項目別に分かれ、使用上の注意・副作用などが解説されています。

巻末には薬剤識別コード索引表がついているので、薬の名前がわからないときに調べることができ便利でしょう。



R499

『日本医薬品集一般薬 2010-11年版』

じほう 2009

わが国の薬局・ドラッグストアなどで販売されているほぼすべての一般用医薬品約 13,000 品目について、製薬企業各社に行った調査結果に基づき、そのリスク区分、成分、効能、用法・用量、規制区分など、最新の製品情報を収録しています。

さらに、使用上の注意やリスク区分一覧をはじめ、「一般薬と医療薬の添付文書情報の対応表」など、役立つ資料が満載です。

HE499.1

『知ってよかった新しい家庭介護のくすり』

西村 美智代 / 著 板垣 晃之 / 著

日本医療企画 2008

本書は高齢者の身体の変化について細かく書かれていて、高齢者はなぜ、副作用が出やすいかなど、介護を受ける世代に向けて親切な手引き書となっています。

薬の種類だけでなく、上手な保管方法・薬の服用時間・薬の飲み合わせ・薬の上手な飲み方なども書かれています。

HE495.2

『薬局で買える女性の薬がよくわかる本』

佐川 賢一 / 著 伊東 俊雅 / 著

法研 2009

2009年6月から薬事法改正により一般用医薬品の販売制度が変わりました。コンビニなどでも医師の処方箋なしで薬が買えるようになりました。

本書では、医薬品の新しい販売制度を理解して女性が自分で健康を守るための最新情報を提供し、女性特有の症状や病気について特に詳しく書かれています。



HE499.1

『大活字薬の事典 2010年版』

林 泰 / 著 ナツメ社 2009

本書は薬のカラー写真が掲載されているため、自分がどんな薬を飲んでいるのかが一目瞭然とわかります。

その薬を服用してはいけない人、注意すべき副作用、効能効果が併せてわかります。

巻末には薬に影響する食品、併用してはいけない薬の一覧が載っていて、影響の出る症状が記載されています。

HE499.1

『よくわかる最新「薬」の基本としくみ』

ジェイ・シー・エヌ / 編

秀和システム 2008

本書は「薬に関する一般的な基礎知識」、「人はなぜ病気になるか」、「薬の基本作用」、「さまざまな症状と薬」の4つの大きな項目に分かれています。

キーポイントとして3行ほどでそのページの内容がまとめられているので、大変わかりやすくなっています。

左頁下に小さく載っている用語解説は、あまり知られていないことが具体的に載っており、参考書のように読める本です。



その他の薬に関する本

R499 『薬の事典ピルブック 2011年版』

橘 敏也 / 著 ソシム 2010

R499

『今日のジェネリック医薬品 2010-2011』

増原 慶壮 / 編 南江堂 2010

HE499.1

『ササッとわかるジェネリック医薬品』

武藤 正樹 / 著 講談社 2007

R499 『医療用医薬品集 2010年版』

日本医薬情報センター / 編

日本医薬情報センター 2009